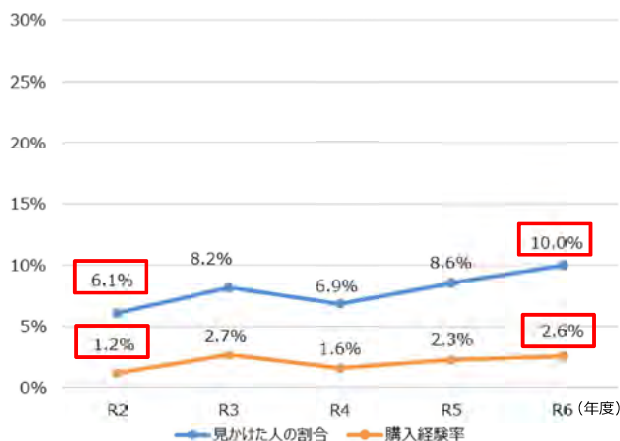


福島県産グリーンピースを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和2年度と令和6年度を比較すると、福島県産グリーンピースを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ3.9%ポイント、1.4%ポイント上昇し、福島県産グリーンピースの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.2%ポイント上昇した。

福島県産グリーンピースを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産グリーンピースを高く評価している人の割合



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産グリーンピースを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。

※見かけた人の割合のnはR2:6,563、R3:6,990、R4:3,124、R5:2,661、R6:2,426。

nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

※購入経験率は1度でも購入したことがある人数／回答者数

記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていた場合は購入経験なしとなる。

※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

※福島県産グリーンピースを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。

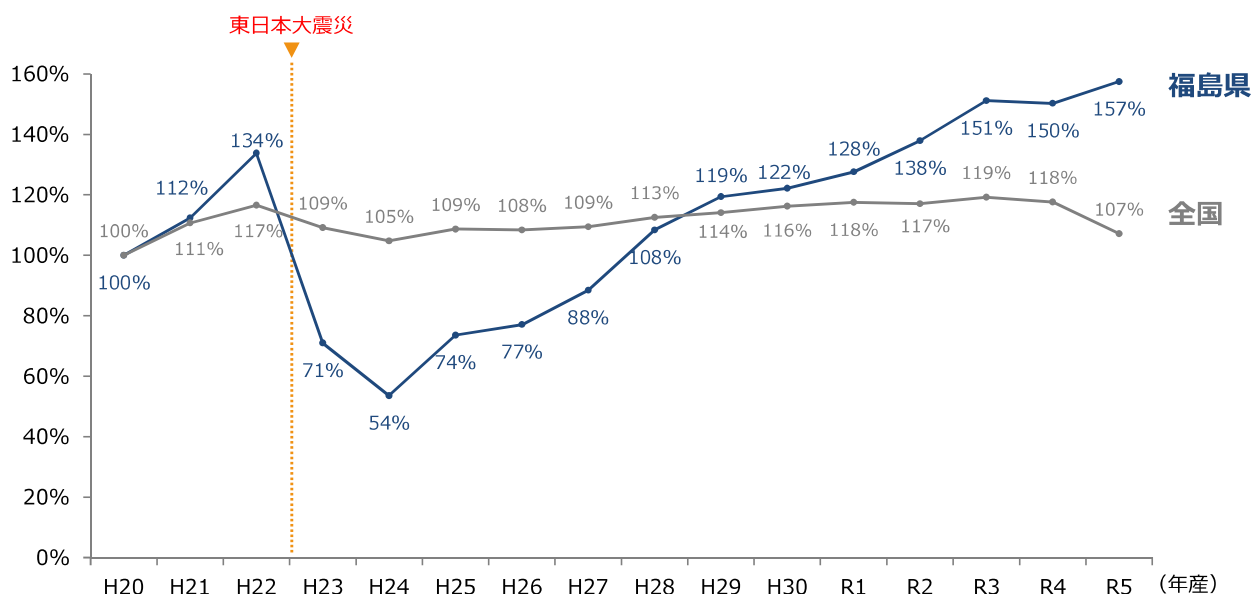
※nはR2:128、R3:292、R4:87、R5:92、R6:104。

519

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移

福島県産菌床しいたけの生産量は、震災後に大きく減少したが徐々に回復し、平成28年産では平成20年産の生産量を上回った。その後も増加傾向が続き、令和5年産では157%と高い水準になった。

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)



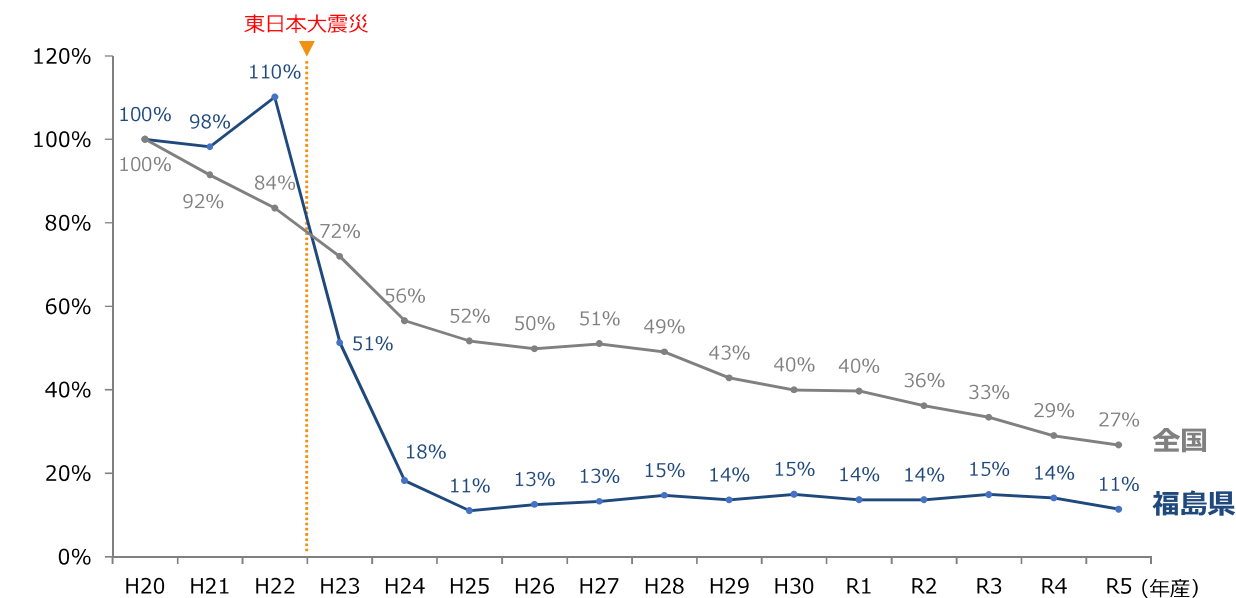
データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

520

福島県産原木しいたけの生産量は、平成23年産と、平成24年産において大幅に減少した。その後、横ばい傾向が続き、現在は平成20年産の11%程度となっている。

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)



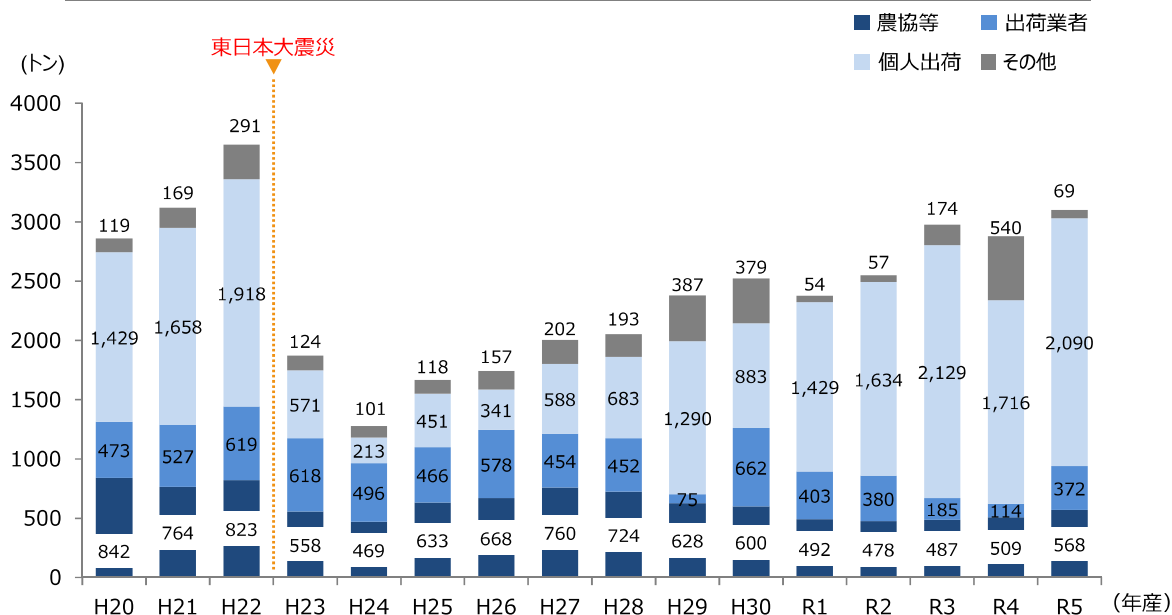
データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」 ※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

521

福島県産生しいたけの出荷主体別出荷量の推移

福島県産生しいたけは、震災後、個人での出荷量が特に大きく減少し、平成24年産は平成22年産の約11%の水準であった。その後再び増加し、令和5年産は平成22年産の約109%まで回復しつつある。

福島県産生しいたけの出荷主体別出荷量の推移

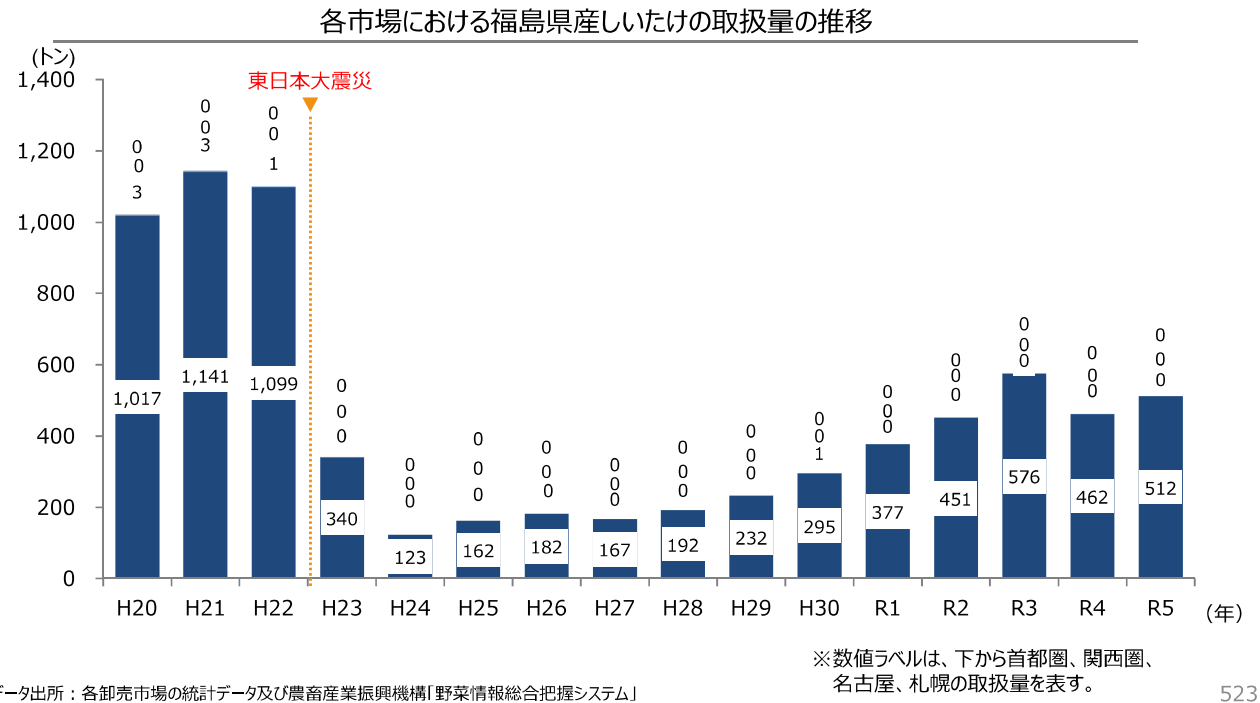


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

522

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移

主要 4 地域の市場における福島県産しいたけはほとんどが首都圏で取り扱われている。震災後に取扱量が大きく減少し、平成25年以降は少しずつ回復傾向にあり、令和 5 年には512トンの取扱量となった。



各市場におけるしいたけの産地リレー(令和 5 年産・首都圏)

福島県産しいたけの市場シェアは、東京都中央卸売市場では 7 月は 2 位、8 月は 3 位であった。横浜市中心卸売市場では年間を通して 3 位であった。

各市場における産地リレー(令和 5 年産)

各月で市場シェア 1 位～3 位の順に ■ ■ ■ で色付け

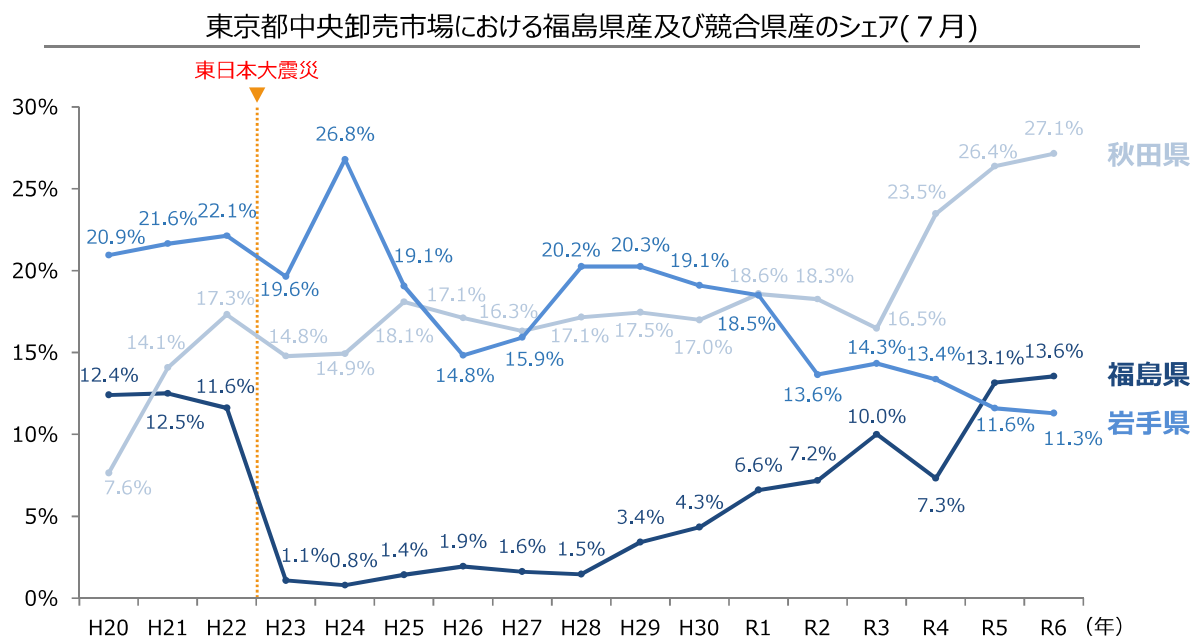
東京都中央卸売市場													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	5%	6%	7%	7%	8%	13%	10%	5%	5%	5%	5%	375
秋田	25%	24%	26%	26%	26%	28%	26%	27%	27%	22%	23%	22%	1,483
岩手	20%	19%	18%	18%	15%	12%	12%	10%	10%	17%	18%	15%	956
栃木	8%	8%	10%	10%	8%	8%	8%	7%	6%	12%	10%	10%	536
群馬	7%	6%	6%	7%	7%	7%	7%	8%	7%	8%	9%	10%	455
中国	11%	10%	7%	9%	8%	6%	6%	6%	6%	4%	4%	6%	412
総量	601	504	524	446	421	390	354	341	400	657	671	711	

横浜市中心卸売市場													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	7%	9%	8%	8%	5%	6%	8%	7%	7%	14%	9%	9%	136
秋田	60%	57%	60%	59%	63%	62%	61%	64%	61%	51%	55%	51%	961
岩手	22%	22%	21%	22%	23%	22%	21%	20%	21%	21%	24%	25%	365
山形	7%	6%	6%	6%	5%	4%	4%	3%	4%	10%	8%	9%	94
群馬	2%	3%	2%	2%	2%	2%	3%	3%	3%	2%	2%	2%	35
中国	1%	2%	2%	1%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	1%	2%	25
総量	143	125	137	117	125	123	104	95	105	144	152	143	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

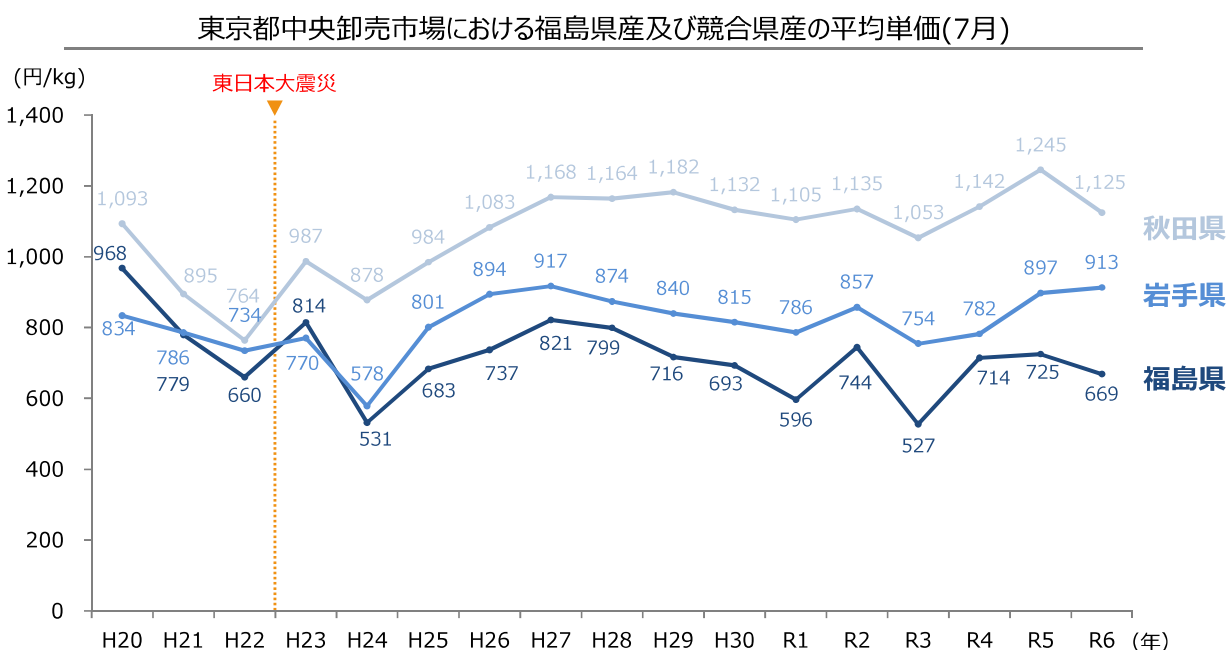
東京都中央卸売市場における7月の福島県産しいたけのシェアは、震災後の平成23年に大きく縮小した。以降は少しずつ回復傾向にあり、令和6年は13.6%まで回復した。



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

527

東京都中央卸売市場における7月の福島県産しいたけの平均単価は、震災後の平成24年以降は岩手県産、秋田県産を下回っている。令和6年では、岩手県産との差が広がり、平均単価が244円/kgほど開いた。



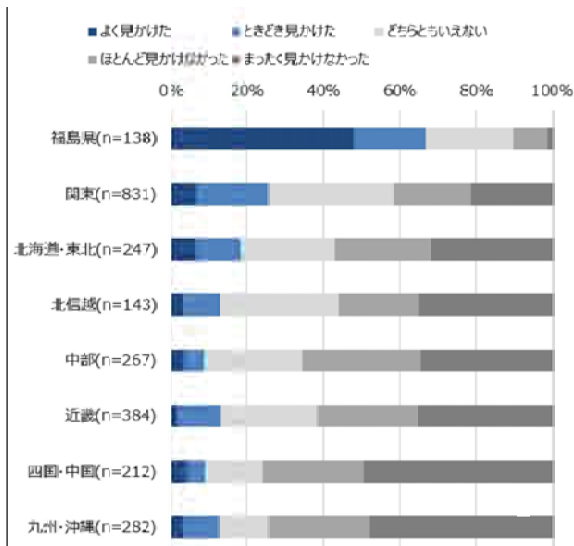
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

528

福島県産しいたけを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

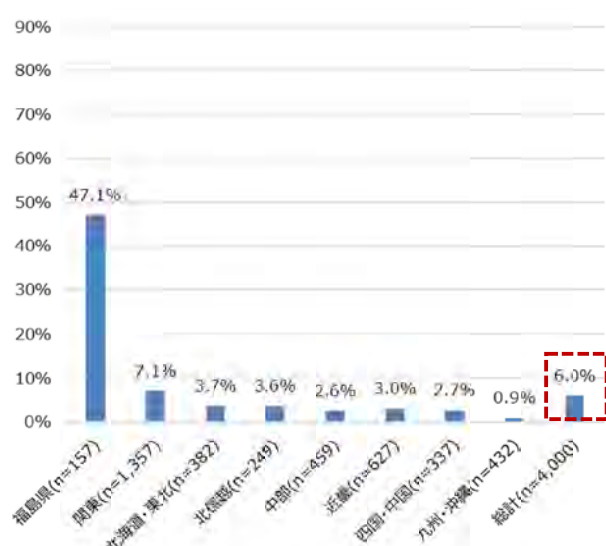
福島県産しいたけを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産しいたけを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.0%であった。

福島県産しいたけを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産しいたけの購入経験率



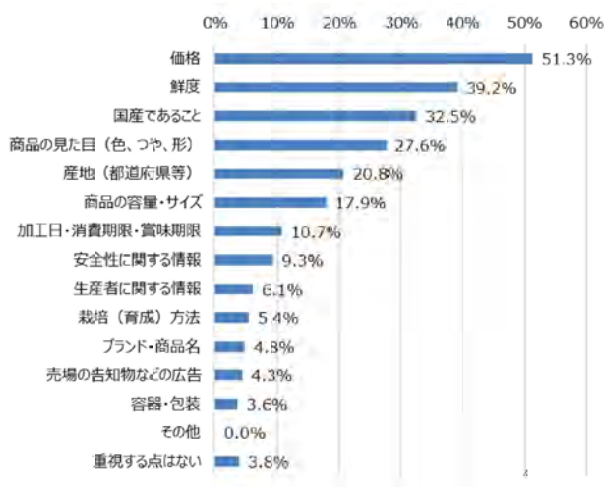
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていた購入経験なしとなる。

529

しいたけ購入時の重視点と福島県産しいたけの購入者の評価（消費者アンケート）

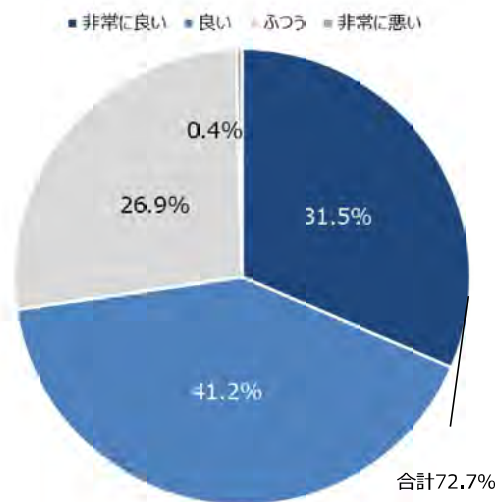
福島県産に限らずしいたけ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「国産であること」があがった。福島県産しいたけの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.7%であった。

しいたけ購入時の重視点（n=2,714、複数回答）



※しいたけ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上しいたけを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産しいたけの購入者の評価（n=238）



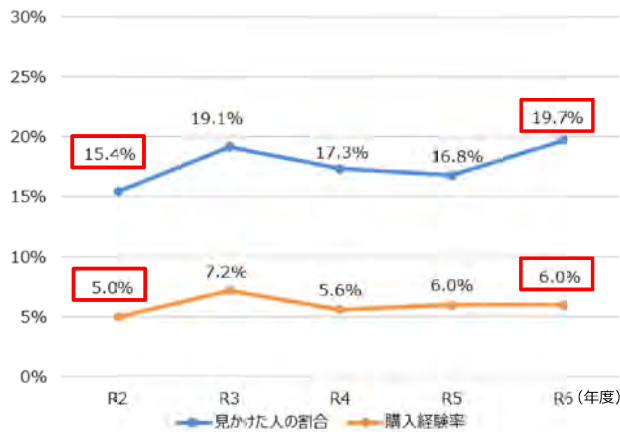
※福島県産しいたけを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

530

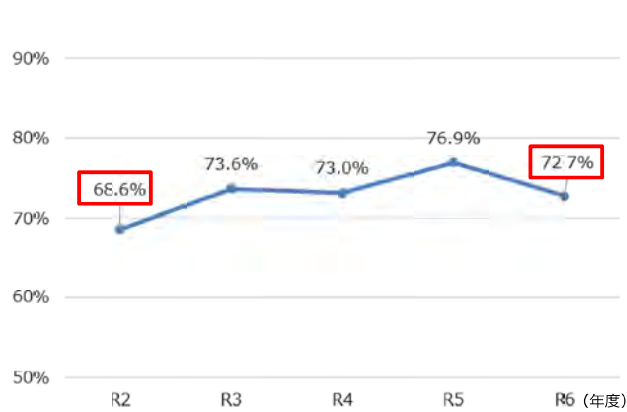
福島県産しいたけを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和2年度と令和6年度を比較すると、福島県産しいたけを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ4.3%ポイント、1.0%ポイント上昇し、福島県産しいたけの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.1%ポイント上昇した。

福島県産しいたけを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産しいたけを高く評価している人の割合



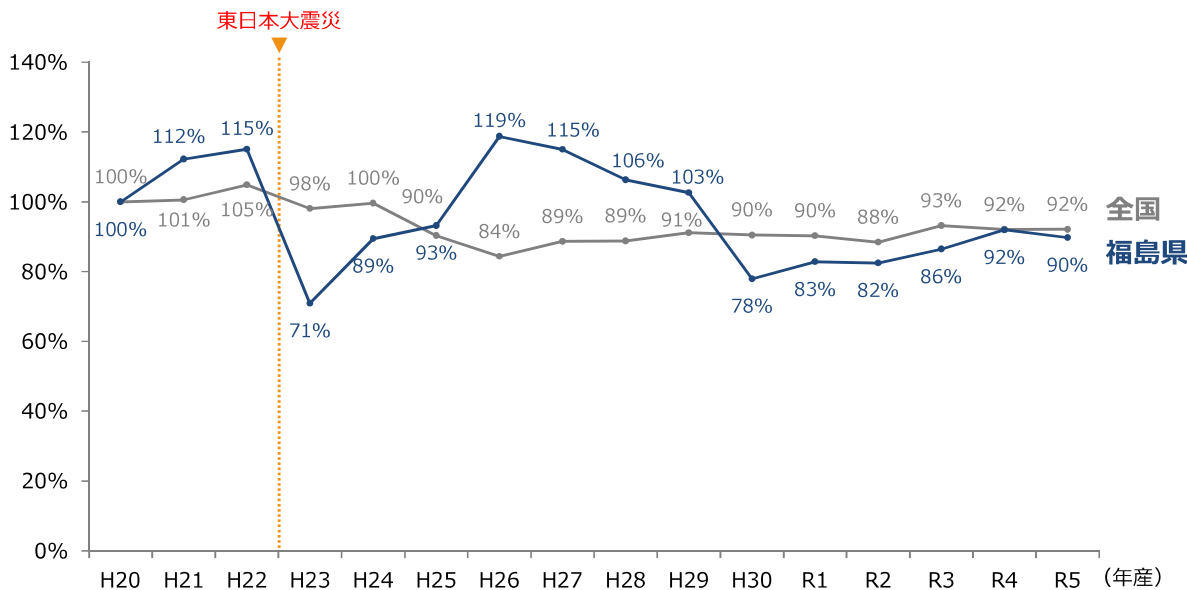
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR2:6,813、R3:7,494、R4:3,392、R5:2,764、R6:2,504。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買ってしまった購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000。

※福島県産しいたけを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:551、R3:790、R4:308、R5:239、R6:238。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移

震災後なめこの生産量が全国的に減少している中、福島県産なめこの生産量は震災直後の急減から回復したが、平成30年産で大きく減少。その後は概ね回復傾向にある。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)



データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」